平成14年度道路環境センサスデータ一覧表

下表は、平成14年度道路環境センサスとして直轄 国道で行った調査結果を調査地点別に表示したもの である。

騒音の新環境基準との比較は、全ての調査地点を 対象に行っているが、調査地点において環境基準の 類型指定がなされていない場合は、超過・非超過の |状況を()付きで表示した。

表示順位は、都府県支庁指定市別、路線番号別、 調査単位区間番号の順で並べた。

群馬県高崎市高松町36

一般国道17号

「 - 」は入力データが無いことを示す。

環境基準、要請限度超過・非超過状況

:非超過

× : 超過 ():環境基準類型指定または 騒音規制区域指定の対象外 環境基準: 昼間70dB 夜間65dB 要請限度:昼間75dB 夜間70dB

(6~11欄)

×

×

10000

1002

車線数は、併設道路を含む。(12欄) 環境基準類型、騒音規制区域の指定状況は、

: 指定有り

空白:指定無し とした。(13~14欄)

8.5

環境基準の類型指定延長は、上下車線別に求め、その合計を2で除した。(17欄) 環境対策設置延長は、上下車線別に設置された延長の合計となっている。(23~27欄) 遮音壁高さ(28欄)は測定地点における値のため、設置延長の有無にかかわらず「-」と表記される区間もある。

0.80

0.80

DID

0.8

舗装種別は以下に示すとおり(22欄) 密粒As :密粒アスファルト

排水性As:排水性アスファルト その他As:その他のアスファルト

コンケリート : コンクリート その他 : その他

沿道建物の状況は以下のとおり(31~32欄) 両側 : 両側に建物がある

測定側:測定側のみ建物がある 反対側:測定点の反対側のみ建物がある

21.2 堀割 密粒As

無 :両側とも建物がない不明 :不明

調査種別番号(33欄)は以下のとおり

無

無

無

1

2002

1:平成14年度実測 5:前年度データを補完

	1	2	3	4	5	6 7	8	9	10 11	12	13 14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25 2	26 27	28	29	30	31 32	3	3 34
まねに	路線名	地点名		No.		環境基準 超過・非超過	要請 超過・非	情限度 騒音レベル ・非超過 (dB)			測定地点 の 指定状況	測定位置 情報	区間	環境 基準の	評価	沿	道路条件			環境対策設置延長(km) [片側換算]			遮音	併設道	直路	沿道建物	7	定データ	
事務所コード			都道府県支庁市	調査 単位 区間 番号	区間 内 番号	昼間 夜間	昼間	夜間	昼間 夜間 Leq Leq		環境 騒音基準 規制類型 区域	測定点側 の車道 中央との 距離 (m)	処	類型指定延長(km)	延長 (km)	追状況	道路 敷幅 (m)	道路 形態	舗装 種別	環境 施設 帯	空草	高架 電面 発音 転 板		壁 高さ (m)	併設 道路 の 有無	道路形態	測定点 背後 発射物 の有無	道 調の 種兄 番	別 嗣且

75

73

4